

NEWYORK スタインウェイの伝統

FUJIMOTO PIANO KOBO



グランドモデル L



スタインウェイ社はドイツからアメリカに渡ったスタインウェー一族が 1853 年に創業、ヨーロッパピアノの伝統にとらわれず、新しい発想をつぎ込んでピアノを製造しました。それらのニューヨーク・スタインウェイは、ホロヴィッツを始め、世界中のピアニストがほれ込んだ名器であるだけでなく、多くのジャズマンやピアノを心から楽しむ人々にも愛され続けてきました。

往年の NY スタインウェイに魅せられ、当工房では折々にこれらのピアノを修復、ご紹介しています。

ピアノが到達した最高峰のトーンとエネルギーに触れてください。

ヴィンテージ・New York スタインウェイピアノ ご案内

年代	スタインウェイファミリーの足跡
1820	ドイツにて家具製作及び僅かなピアノ製作を行う
1850	アメリカへ移住。親族の一部はドイツでピアノ作りを継続
1853	ヘンリー・スタインウェイ、スタインウェイ & サンズピアノ会社をニューヨークに設立 1862年ロンドン博覧会、1867年パリ万国博覧会で金賞を受賞
1870年代	息子のウィリアムにより、拠点を確立、拡大。ドイツ・ハンブルグにもヨーロッパ拠点を置く。
1870~1940	アメリカの産業発展に伴い、高い音響工学研究や、飛躍的に進んだ鋳造技術などのノウハウを注ぎ込み、音色、響き、ほかピアノ製造の最高の道を進む。ピアノ作りに情熱を傾けたスタインウェイ社の黄金時代。 この頃製造されたNew Yorkスタインウェイはヴィンテージスタインウェイと呼ばれ、アメリカ国内外において名器として知られる。
	
1941~1945	第二次世界大戦。ピアノ工場は軍需工場となり、ピアノ用木材等も軍需用に供出。しかし工場の一部にピアノ製造基地を確保し、ピアノ製造を細々と継続
1945~1972	戦後、引き続きピアノ作りを続行
1972	経営権をCBSに譲渡、スタインウェイファミリーによる経営は終焉を迎える
1972~	1972年以降、スタインウェイ社の経営は他者の手に渡り、製造のポリシーは大きく変化した。これを境に楽器そのものも大きく変化、同じ名前でも別の楽器、という声すらあり、スタインウェイファミリーの情熱がピアノに反映されることは無くなったと言われる。

ヴィンテージ・NYスタインウェイピアノの特徴

響きと音色	響板、ケース（外側）も美しい響きのために軽く作られており、脚まで響くと言われる。この音色はマッシュルームトーンとも言われ、明るさ、甘ささえも感じさせる。
パワー	エネルギーがあり、小さなサイズでもパワーを放つ。
素材	当時の最高の素材（木材、鉄）が緻密な研究のもと、慎重に加工され使われている。
鉄骨自社製造	1940年まではNYのスタインウェイ本社において鉄骨（響板の上で弦を張る部分）製造がなされていた。
構造	構造そのものがそれまでのヨーロッパのピアノと異なり、前述のように近代技術の粋を集めたため、ファミリーが取得した特許も110件ののぼり、20世紀以降のピアノの基礎を確立した。その後、ヨーロッパ、日本などのピアノメーカーもその製法に追随したが、その高みに迫ることが困難とされている。それがVintageNYスタインウェイが現代のピアノの芸術品、逸品と言われるゆえんである。
Vintage NY スタインウェイ を弾く	◇ 好みはあるが、通常タッチは軽く仕上げる。この音色と響きに耳を澄ませながら弾くようになるため、多くの所有者は「ピアノが弾き方と音楽を教えてくれる」と語る。

〈音楽〉を奏でるピアノ、ヴィンテージNYスタインウェイはそのような楽器であると日々感じます。その音の素晴らしさ、このような世界があるということに少しでも触れて頂ければ幸いです。

有限会社 ピアノリソースセンター 藤本ピアノ工房
〒194-0022 東京都町田市森野 4-21-19
TEL : 042-720-3499 FAX : 042-720-3753
e-mail: contact@fp-kobo.com www.fp-kobo.com